

令和5年7月18日

都道府県協会 審判長 様  
ブロック協会 審判長 様  
連盟 審判長 様

(公財)日本ハンドボール協会競技・審判本部  
競技本部長 高野 修  
審判本部長 福島亮一

2022新競技規則変更(2022年7月1日IHF施行)に係る解釈の追加について  
(通知)

平素より大変お世話になっております。

2022年7月1日に施行となった競技規則に関し、国際ハンドボール連盟(IHF)競技規則審判委員会(PRC)は、2023年7月1日、スローオフエリアに関する新たな解釈の追加を発表しました。

追加された解釈の内容は、以下の2点となります。

- 1) ゴールエリアからスローオフエリアに向かうゾーンを3つに分けて、競技規則を運用する際の判断基準とする。
- 2) 1)を基に、帰陣するプレイヤーの位置や動きが、罰則を適用するかどうかの判断基準となる。

(公財)日本ハンドボール協会競技・審判本部では、本通達の適用については、令和5年(2023年)9月1日からとします。それ以前の大会については、各連盟・大会主催団体の判断に任せることとします。

ただし、国際ハンドボール連盟(IHF)およびアジアハンドボール連盟(AHF)では、既にこの解釈の追加で運用されていますので、国内における以下の大会については、日本代表選手への対応を鑑み、本解釈の追加を採用することとします。

- 1) 8月1日以降開催の第48回日本ハンドボールリーグ
- 2) 8月9日から開催の第28回ジャパンオープントーナメント(佐賀県開催)
- 3) 10月8日から開催の特別国民体育大会(鹿児島開催)の出場権をかけた、各ブロック予選大会(成年・少年全種別)

今後、解釈の追加に関するご質問については、各所属の審判長を通して、日本協会審判本部へ集約してまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(公財)日本ハンドボール協会  
競技審判本部 審判本部長  
福島亮一  
mail: futkun1212jp@yahoo.co.jp